

T

退院後も

T

つなぎます

A

あなたの

K

こころとからだ

2月15日号
地域連携室発行

特集！ 発表者に聞く！

近頃は「暖冬」という言葉をよく耳にしますが、
ぽかぽかと気持ちいい春の日差しで本当に2月かな？と感じる日があります。
さて今回は、日本病院学会で、放射線科の田路さんにお話をうかがいました！

放射線科 田路 則義 さん

日本病院学会にて発表！！

田路さん、こんにちは。今回はありがとうございます。

Q：早速ですが、どういういきさつで発表しようと思われたのですか？

A：はい、私は毎年当院で行われる院内総合学習発表会で昨年優秀賞をいただきました。毎年、この学習発表会で優秀賞と優良賞に輝いた演者は、日本病院学会でその内容を発表することが恒例になっています。今回もその例になりました。

Q：どのような内容の発表だったのでしょうか？

A：はい、平成18年7月7日に岡山コンベンションセンターで行われた第56回日本病院学会で発表させていただきました。内容としては、当院での全科を対象にした幅広い栄養サポートチーム（NST：Nutrition Support Team）の活動の現状について発表し、栄養やPEG（Percutaneous Endoscopic Gastrostomy：経皮内視鏡的胃瘻造設術）・嚥下など各チームの紹介をしました。

Q：NSTの中での放射線科の関わりとはどのようなものですか？

A：栄養と放射線技師は関係ないのではと思われる人が多いと思います。私たちは生きていくために必要なエネルギーを口から食べることによって得ていますが、何らかの原因で咀嚼（かむ）機能や嚥下（飲み込む）機能が低下すると食べるのが困難になってきます。嚥下機能を評価する方法の一つにX線透視装置を用いた嚥下造影があります。嚥下造影は食物に見立てた模擬食品を被検者に食べていただき、その嚥下の状態をビデオ等に録画し解析していきます。その検査結果を参考にしてその人にとって食べやすい食物形態や体位、誤嚥しにくい工夫などを考えます。このようなことから放射線技師もNSTの一員として活動しているため、今回発表することになりました。



Q : X線透視装置を用いることで画像を映し出して繰り返し診ることが出来るため、嚥下機能の評価がしやすくなったのですね。大きな学会で発表してみてどうでしたか？

A : はい、私は病院学会への参加は今回が初めてでした。

会場は新幹線に乗ると約20分の岡山駅前であり近くてラッキー(?)でした。同じく優良賞を取られた感染制御チーム

(ICT : Infection Control Team) の八木看護師と内科の大西先生、そして私の強力なサポート役として小野薬剤師とともに参加しました。

栄養に対する関心は高く会場は見学者であふれて立ち見が出るほどでした。

また、演題には他施設からのNSTの活動内容の報告も数多くあり、とても刺激になりました。

私はNSTの一員といっても栄養が専門ではありませんので、どんな質問がくるのかと心配していました。NSTのような様々な職種から成っているチームの発表は、様々な領域からの質問があり一人で対応するのは難しいですね。

自分ではあまり意識していなかったのですが、発表前はかなり緊張していたようで、発表前と後では表情が全然違うとひやかされました。

病院学会は各職種の専門的な学会とは違い、病院内のあらゆる領域の発表を目的にすることができました。現在の病院の問題や今後の課題などを見て取ることができ、有意義な時間を過ごしました。

Q : 栄養に関する発表は関心が高いのですね。では、今後の抱負などお願いします。

A : はい、これまでNSTはコアスタッフの養成・NST活動の構築と定着・他の職員への栄養についての啓蒙を行ってきました。

今後は栄養療法の効果確認、回診データのデジタル化による2次利用、また地域医療機関や介護施設などとの連携による地域一体型NST活動を目指していきたいと思います。



田路さんありがとうございました！

食事はエネルギーを得るだけでなく、人生の楽しみでもあります。

病気になってもなるべく口から食べて生きたい…。

というのはみんなの願いではないではないでしょうか？

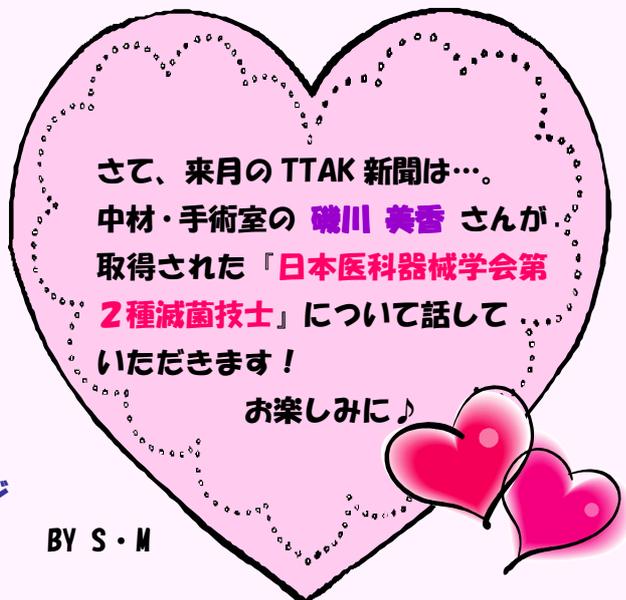
食事や体位の工夫で口から物を食べられるようになることは患者様にとって大きな喜びになると思います。

田路さんの今後の活躍に期待しています♪

TTAK 新聞のバックナンバーは、播磨病院のホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧頂けます。

BY S・M



さて、来月のTTAK新聞は…。

中材・手術室の **磯川 美香** さんが、

取得された「**日本医科器械学会第2種滅菌技士**」について話して…

いただきます！

お楽しみに♪